



足立区議会だより

発行/東京都足立区議会 ☎(3882)1111 No.150

第2回 定例会

RECYCLE PAPER
—森林資源を大切に—



千寿本町小学校温水プール

『議員からの寄付は、罰則を以て禁止されています』

議員（候補者等を含む）が、お祭り・運動会・親睦旅行会・会合等の行事や、入学式・卒業式の行事に対し、寄付・お祝い・差し入れ等をするのは、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をも以て禁止されています。
また、受け取った人も、罰せられます。
個人に対しても、結婚式・葬式（告別式を含む）以外全ての、お祝い金（入学・卒業等）・贈り物（お歳暮・中元等）をすることも、同様に禁じられています。区民の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

会議のあらまし

平成7年第2回足立区議会定例会は、6月13日から30日までの会期18日間で開催されました。

区長提出議案はすべて原案可決

今定例会に区長から提出された一般会計補正予算、行政手続条例などの議案はすべて原案のとおり可決されました。

意見は妥当の、諮問は妥当及び棄却の答申

道路に軌道を敷設することに関する区議会の意見については、異議ないものと答申しました。諮問は一件を棄却すべきものと、残り一件は異議ないものとそれぞれ答申しました。

議員提出議案を可決し提出

議員から提出された意見書一件は全会一致により可決し、関係機関に提出しました。

請願・陳情を審査

区民のみなさんから提出された請願二件、陳情八件は本会議において本文記載のとおり決しました。

主な内容

- 区政を問う（代表質問）……………2～5頁
- 可決した主な議案……………6頁
- みなさんからの請願・陳情…6～7頁
- 今定例会で可決した意見書……………7頁
- 「鋸南自然の家」竣工……………7頁
- 環七高速鉄道（メトロセブン）促進協議会開催……………7頁
- 区議会のしくみと仕事……………8頁

代表質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する12名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。

自由民主党足立区議員



浜崎 健一 議員

今後の財政運営について問う

【問】我が党は、平成7年度当初予算の審議過程に於いて、公債費比率の伸びや基金残高の減少を憂慮し、区長が4期十六年の集大成としての指導力を発揮するよう求めたところである。区長は我が党の指摘に対し、どのような指導を行ったのか。

【答】公債費の伸びに加え、基金残高も減少してきた。このため、減債基金の活用など財政運営の工夫を行うとともに、中期の財政見直しを作成するよう指示した。今後、限られた財源を効率的に活用し区民サービスの低下を防ぐよう努力する。計画事業は、優先度の高いものから基金残高や公債費比率を考慮して実施するよう指示したい。

計画事業について問う

【問】①ハコモノ行政からの転換も考えるべきだと思いがどうか。②経費削減を図るため、既存資源(学校施設等)の有効活用を考へるべきである。③行政需要の急激な変化に対応するため、施策分野によっては質より量の確保に重点を置くべきと考へるがどうか。

【答】①いまだ施設を必要とする分野が多く、既存施設を活用するとともに、今後も財政状況また維持管理経費に配慮しながら建設を進めていく。②学校施設等の更なる有効活用の方策も

重要と考へているので、新たな視点からの活用方法を検討したい。③高齢者施設や地域に数多く配置する施設などでは、一定の質の確保を図ったうえで、量を充実する選択が必要であると考へる。

特別区制度改革について問う

【問】これまで平成7年4月の法律改正に向けて、区民・区議会・行政が一体となって運動を展開してきたが、今通常国会での法改正は事実上困難な状況である。現在、法改正はどのような状況か。また、今後の見通し、特に清掃事業移管の取り組みについて区の基本姿勢はどうか。

【答】都区及び労使間の合意が遅れたため、法案の具体化まで時間的余裕がなかったことや阪神・淡路大震災、サリン事件等国として緊急対応をしなければならぬ事態が発生したこと等により、今国会での法案提出は困難となっている。今後、引き続き粘り強い対応をしていくとともに、法案が確実に上程できるように環境づくりをしていく。清掃事業移管の取り組みについては、平成12年4月の移管を円滑に進めるための体制整備を計画的に図っていく。

血液検査による胃がん検診について問う

【問】血液検査による胃がん検診が郵送で出来ることである。バリウムを飲む必要もなく、コストも低いこの検診方法を採用すれば、受診率と発見率が向上するものと考えられる。区と

しても採用を検討すべきである。【答】この方法は、医学的に高い評価を得つつあり、また、様々な利点のある方法として、最近注目を浴びているが、老人保健法指定の検査方法としてまだ認定されていない。また、二次検診実施医療機関との調整等、実施にあたっての課題があるが、導入する方向で検討を開始する。

評価するが、今後はどのように進めようとしているのか。

【答】学校に勤務する現業職員については、「退職不補充」の考へ方に基づき対応してきた。今後も、行政改革の一環として、議会の理解を得ながら、民間委託等を進め退職不補充の考へ方を堅持していく。



新しいタイプの流通機構をも含めた再開発ビルを検討せよ

【問】規制緩和も進み、商品によって価格破壊が定着している状況の中で、新しいタイプの流通機構をも含めた再開発ビルも検討をしていく時期と考へるがどうか。また、北千住自転車文化圏構想を実現するため、駅ビルより徒歩1〜2分の場所にもっと多くの駐輪場を確保すべきと思いがどうか。

【答】北千住駅を利用している通勤・通学客を、いかに北千住のまちに降りてもらおうかが課題である。この考へ方を踏まえて、研究していきたい。また、駐輪場の整備については、今後利用状況を勘案しながら、その整備方法を検討していきたい。学校勤務職員の退職不補充について問う

【問】区が、これまで業務の民間委託等により単労系職員の削減を図ってきたことについては

【答】区が、これまで業務の民間委託等により単労系職員の削減を図ってきたことについては



藤本 二幸 議員

青島都知事に対する区長の評価を問う

【問】都知事候補として、石原氏をどの政党より先んじて推薦し、期待していた区長は、石原氏が敗れ、行政経験のない、行政能力も判らない青島新知事の出現についてどのように評価しているのか。

【答】青島都知事に対する質問であるが、23区としては、都区制度改革に向けて、鈴木前都知事と一体となって法改正に取り組んできた。

そこで、区長会としては、前知事の政策の継承を表明されていた石原氏を推薦したものである。

【問】「民主主義の原点は選挙に

ある」という視点にたつて、今回の都知事選に於ける足立区での開票結果、青島氏八五〇一五票と石原氏六八〇七七票という区民の選択を、区長はどのように受けとめているか。

【答】今回の都知事選に於いて、足立区民が選択した結果については、重く受け止めなければならぬものと思えている。

【問】青島都知事が誕生して以来、都民・区民の関心事は「公約の実現」「政治信念の重さ」についてであった。

【答】区長は、議会の決議と首長の公約、政治信念の重さは、どちらを優先すべきか、区長自身はどのように考へているか。

また、政策決定や政策変更は過程を透明にすべきではないか。

【答】議会の決議と首長の公約、政治信念については、議会制民主主義と大統領制度の両面からいろいろな意見があることは承知しているが、私としては、議会と首長が十分に話し合いを重ねることによって、解決を図ることが望ましいと思えている。



鈴木 進 議員

新庁舎の区民への公開及びホールの予約開始時期について

【問】新庁舎完成時の一般公開と同様に、当区に於いても、新庁舎の区民公開日を設定し、区民と喜びを分かち合うべきと考へるがどうか。また、新庁舎のホールについては、いつ頃、料金体系を含めた条例を提案し、いつから予約を開始するのか。



【答】新庁舎の落成を機に、区民の方々に区政への一層の理解を深めていただくため、開庁に先立って新庁舎を公開する場を設けていきたい。ホールについては、現在管理運営面を含めて利用に関する条例案を検討中である。準備や受付期間の確保の問題もあるので、できるだけ早い時期に提案したい。

【問】コミュニティ文化・スポーツ公社は高齢者の利用拡大を図るために、事業の展開に創意工夫をすべきである。又、近年環境問題や防災対策等の課題に対して区民の意識が高まっていることから、公社に於いてもこれらの課題やまちづくりのための学習事業を実施してはどうか。

【答】指摘のとおり、高齢者の利用が少ない。高齢者を対象とした事業の工夫については、利用者アンケートや利用者懇談会

問う

次の定例本会議は—
9月に開会されます。時間は午後1時から。



代表質問

区政を

傍聴してみませんか 区議会本会議は公開されています

等により問題点・要望を把握していききたい。また、近年の社会情勢から、公社に於いてもこの課題に対する何らかの事業展開が必要ではないかと、公社内部に於いても検討されている。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【答】東京都では、平成7年度末の完成を目指し鋭意努力されてきたが、未買用地が残っており、計画より遅れが生じている。工事の進捗状況は、全体面積の97・2%が用地買収済で、これまでに約55%が開園している。区としても全面的に協力をするとともに、早期完成に向けて更に都へ要請していく。



瀬沼 剛 議員

【問】ホテル建設推進にあたり、近隣の方々への温かい配慮は当然であり、不安を与えぬよう細かな対応をして頂きたい旨を伺う。また、ホテル内にダンス可能なホールの建設を約束しているが、研究の経過を説明されたい。

【答】千住地区の方々へは町会連合会ごとに説明会を開催しており、そのなかでは、千住区民事務所の移転先や防災関連施設

等について質問があった。指摘のとおり進捗状況に応じ、きめ細かな対応をしていく。このホールは、ダンスが可能なホールとして、専門家等の意見を伺い、利用者に十分配慮した施設整備を行いたいと考えている。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【答】東京都では、平成7年度末の完成を目指し鋭意努力されてきたが、未買用地が残っており、計画より遅れが生じている。工事の進捗状況は、全体面積の97・2%が用地買収済で、これまでに約55%が開園している。区としても全面的に協力をするとともに、早期完成に向けて更に都へ要請していく。



【問】新庁舎機能を活かすには区営バス運行が不可欠である。綾瀬駅、西新井駅、北千住駅、千住大橋駅を結ぶ路線はもとより、千住循環路線も必要である。又、北綾瀬先新駅設置の取組は、

【答】既存バス路線の充実等の他に、綾瀬駅、西新井駅等を結ぶバスの運行についても現在策

定中の総合交通計画の中で、多角的に検討していく。また、千住循環路線については、ホテル開業が数年先であるので、今後の検討課題としたい。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【答】東京都では、平成7年度末の完成を目指し鋭意努力されてきたが、未買用地が残っており、計画より遅れが生じている。工事の進捗状況は、全体面積の97・2%が用地買収済で、これまでに約55%が開園している。区としても全面的に協力をするとともに、早期完成に向けて更に都へ要請していく。



吉川 一 議員

【問】西新井駅西口広場周辺道路及び補助138号線の整備について伺う。

【答】西新井駅西口広場につながる道路に接続する各種道路及び補助138号線の梅田5丁目から関原地区を経て補助100号線までの整備の見直しについて伺う。

【問】西新井駅周辺の整備については、住宅市街地総合整備事業等を導入し、幹線道路網の体系的整備、駅前広場へのアクセス道路の整備等を計画的に図っていききたい。補助138号線の梅田5丁目から補助100号線までの区間は、平成12年度までに着手又は完成を予定する路線に位置づけられており、権利関係調査を引き続き進め、可能な限りすみやかに整備計画を取りまとめ事業化に取り組んでいきたい。

【問】マスコミ等の報道によれば、免震構造の建築物が今回の「阪神・淡路大震災」にびくとせず安全性が立証されたとのこと。免震の原理は単純で、建

物と地面と密着している基礎の間にクッション(積層ゴム支承)を入れ免震層としたものである。区施設にも導入してはどうか。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【答】東京都では、平成7年度末の完成を目指し鋭意努力されてきたが、未買用地が残っており、計画より遅れが生じている。工事の進捗状況は、全体面積の97・2%が用地買収済で、これまでに約55%が開園している。区としても全面的に協力をするとともに、早期完成に向けて更に都へ要請していく。

【問】区内の震災時に於ける、区役所での指揮命令が区内在住の部長が2人、課長24人で区全域にわたる機敏な対応と適切統一された情報が供給できるか否か、区のマニュアルを問う。また、区も災害救助犬を飼育するなどの考えはないか。

【答】震度5以上の態勢としては、災害対策本部と、夜間や休日に対応する緊急災害対策本部とがある。災害対策本部と緊急災害対策本部との、相互の有機的な連携等についても見直し、機能の拡充を図りたい。また、区としては、スイスの救助犬のように、ボランティアの申し出があれば、その訓練を支援し、合わせて救助態勢のあり方を検討すべきと考えている。

災害対策本部

緊急

災害対策本部

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【答】東京都では、平成7年度末の完成を目指し鋭意努力されてきたが、未買用地が残っており、計画より遅れが生じている。工事の進捗状況は、全体面積の97・2%が用地買収済で、これまでに約55%が開園している。区としても全面的に協力をするとともに、早期完成に向けて更に都へ要請していく。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。



藤田 晴彦 議員

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。



友利 春久 議員

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

足立区議会 公明

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

【問】昭和天皇在位50年事業に位置づけられ建設着手も早かった舎人公園は、立川市にある国営昭和記念公園に比べ、建設が大幅に遅れている。そこで、舎人公園の全面開園の時期などを含め工事の進捗状況と、建設を進めるうえでの隘路があるとしたら、その点も含めて伺う。

要な要素である。今回の震災を契機に、初動態勢をどう変えていくのか。また、新防災センターにより、どう強化されるのか。

【答】2月6日実施の緊急災害対策本部員訓練の結果をもとに、参集職員の範囲、配置計画、任務等の一部変更した。また、公社の編入の見直しを進めている。新防災センター完成のあかつきには、その情報通信機能により被災地の状況をいち早く把握することができ、避難誘導、物資の移動、職員への指令を効率的に行えると考えている。更に、防災センター内に24時間要員を配置することを検討している。

震災時の避難所の開設、運営について問う

【問】今回の震災後すぐに新田・宮城小学校に備蓄を実施したことは評価する。①今後これを全校に拡大していくのか。②小・中学校に災害用に資機材を整備し、防災活動拠点としていくのか。また、その運用は誰が主体となっていくのかを問う。

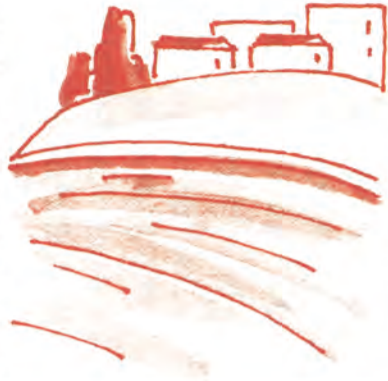
【答】①小・中学校への配備については、平成11年までに完了するよう計画である。②学校への資機材については今回、補正予算で埋め込み式トイレや、発電機等を配備する。なお、その他の資機材も今後整備するよう検討しており、小・中学校は、防災拠点のひとつとなる。

避難所の運用については、区・学校・町会等が一体となった体制づくりが必要であり、区としても支援していく。

毛長川水害対策について問う

【問】毛長川のそばに住む区民のみなさんは水害に悩まされて

いる。そこで、①毛長川の問題点は水害を含めどのような点があるのか。②その解決の為、何が障害になっているのか。③財源はどの位必要なのかを問う。



【答】①毛長川の問題点は、水害と水質悪化がある。②水害対策は、事前防水としての堤防嵩上げ工事、きめ細かい堤防補強等を、すでに実施した。今後の問題点は、堤防の本格改修であり、これには、用地取得、橋梁の架け替え等の課題も多く残されている。水質悪化の原因は、上流部の都市化と下水道普及の遅れがある。今後、綾瀬川の浄化を目的とした「綾瀬川清流ルネッサンス21地域協議会」の中で支川となる毛長川の浄化対策についても積極的に働きかけていく。③財源については、多額の費用を要すると考える。

日暮里・舎人線について問う

【問】日暮里・舎人線の導入は沿線地域の発展に寄与するものでなければならぬ。その為には沿線全体にわたってのまちづくり整備計画が必要である。それには地域住民の合意がなければならぬ。区はこの課題に対してどの様に取り組むのか。

【答】新線導入は足立区の将来の都市構造に大きなインパクトを与えるとの認識にたち総合的に取り組んでいる。整備計画の策定については、地域住民との合意形成に基本的な視点を置きながら今後も沿線のまちづくりについて協議を重ねていきたい。寝たきり防止のための骨粗しょう症予防対策について問う

【問】国民栄養調査の結果では、カルシウムの摂取は減少しており健康教育だけでは不十分ではないか。骨密度の測定など若年期からの骨粗しょう予防対策を一層充実していく必要を痛感しているが、区の見解を問う。

【答】都の報告書でも、寝たきり予防は若年期から高年期に至るまで一貫性をもった施策展開が必要と指摘している。従って、国の補助事業である「女性の健康づくり推進事業」との連携の中で骨密度の測定を導入するなど、施策の一層の充実を図っていきたく考えている。

生涯スポーツ振興について問う

【問】現在3か所の温水プールでは、65歳以上の方は、無料化を試行中と思うが利用状況と利用者の声について問う。また、6月で試行が終了するが引き続き継続すべきと思うかどうか。

【答】今年の5月末現在では618名の方が登録し、4月末現在では延べ3千42名の方が利用された。利用者からは、身体が軽くなった。血圧が安定してきたなどの声が窓口で寄せられている。今後、利用状況を更に把握するとともに、引き続き継続していきたいと考えている。

震災対策とまちづくりについて

【問】長門地区の中央部から東側は道路も狭く、木造家屋密集地域であり、震災に対し、総合危険度の高い地域でもある。そこで問う。①この地区には100トン防火水槽が一つしかない。40トンの防火水槽を何か所か早急に設置すべきである。②中川の水を消防水利として利用できるよう国に働きかけるべきと考えられているが、区の見解を問う。

【答】①この地域は、周辺に防火水槽が偏り、中心部が不足している。40トンの防火水槽については、今後、消防庁と協議のうえ、消防水利を欠くことのないよう対処したい。②堤防の高さや車路等、解決すべき問題もあるが、今後、消防庁とともに国に積極的に働きかけていく。③細街路計画の検討結果を踏まえ、地域の方々と相談しながら災害に強いまちづくりを推進したい。

集合住宅への福祉ベルの取り付けについて問う

【問】福祉ベルの集合的なるものを、その階の1か所に設置し、非常時には、集合盤のベルが鳴り、且つ該当する部屋のパネルが点灯するといった機能を兼ね備えた通報システムを設置すべきと考えるがどうか。

【答】集合住宅への福祉ベル集合盤については、その必要性を認識している。これまで実現に向け努力してきたところであるが、今後も鋭意努力したい。

老人保健施設の整備について

【問】老人保健施設の整備について、区では民間活力の誘導を意図して、建設費の補助制度を採用してきたが、事業の進捗状況はどうか。また、需要の増加に対して、同補助事業の総量を見直す考えはないか。

【答】建設費補助のうち、本年度開設予定施設は2か所で142床の整備が行われる。また、来年度には、1か所100床の施設が完成する予定である。補助申請の照会も多数あることから計画数(平成12年度までに500床)の確保は可能であると考えている。また、補助事業の総量見直しについては、地域保健福祉計画の見直しと同時に進めていく。



民間ボランティア育成について

【問】阪神・淡路大震災では、民間ボランティアの活躍で行政の行き届かない所に温かい救援の手がさしのべられたが、高齢化社会を迎えてボランティア活動は社会的要請でもある。そこで、ボランティア登録制度を設け、活動を支える社会的条件を整備・保障を行うか問う。

【答】ボランティア登録制度については、現在検討を進めている。

区内の三駅にエスカレーター又はエレベータの設置を

【問】高齢者の方々に老後の楽しい人生を送って頂くとともに車イスで生活している方が電車に乗って買い物に行けるよう竹ノ塚・西新井・綾瀬の各駅に順次エスカレーター又はエレベーターの設置をしてはどうか。

【答】竹ノ塚・西新井の両駅については、東武鉄道に早期設置を要請しているところであるが、両駅とも構造上等の問題もあり、駅舎大改修の中で設置を計画していくと考えていると聞いている。綾瀬駅は平成7年度に着工し、平成8年度末に供用開始する予定と営団から聞いている。

43地区区画整理事業について

【問】六町・西加平・南花畑等の地域内に駅を作り、足立区の新しい広域拠点を目指した地区として、商業・業務・文化機能等の導入が期待されている。新駅を中心とした拠点地区にふさわしいまちづくりが必要になってくるが、区としての現在の進行状況を問う。

【答】当地区については都施行の区画整理による都市基盤整備を行う。そのため、地元の代表者の方々と都及び区で、区画整理の進め方や生活再建等の諸条件については、今年秋頃を目途に協議をしているところである。区としては、この区画整理事業の推進のため協力し、43地区を区の新拠点としてまちづくりを進めていきたいと考えている。



前野 和男 議員



杉崎 征司 議員



大島 芳江 議員

日本共産党足立区議団

ホテル建設について問う

【問】区は、財政状況悪化のなかでも、自治体本来の仕事でないホテル建設に、今後、最大の財源を振り向けようとしている。このことは、区民の理解も、納得も得ることができない。区長

【答】ホテル導入については、庁舎跡利用対策特別委員会での結論を基に、区民参加の審議会での十分な議論を経て得たものである。副都心を目指す千住地区に欠けている都市機能のひとつがホテルであり、そのような状況を踏まえて、審議会で結論

を要請しているところであるが、

を出していただいたものと考えているので、ホテル計画を撤回するつもりはない。

行財政運営について問う

【問】区長は、財政破綻状況のなかでも、ホテル建設など大型事業は聖域として、その財源確保のために、自治省の通知どおり「行革推進本部」と、「行革推進委員会」を設置し、新たな行革大綱づくりの検討をはじめた。区長が今やるべきことは、予算の使い方を変え、大企業奉仕の大型開発事業優先の区政から、切実な区民要求を実現する区政に転換することではないか。

【答】各年度の予算については、基本構想及び第三次基本計画に基づき計画的に編成している。今後とも、区民ニーズを的確に把握し、各施策のバランスに配慮して、総合的・計画的に施策を展開していく。



震災対策について問う

【問】今回の補正予算には、全小・中学校に簡易トイレを設置することが盛り込まれている。避難所の機能として最低必要なのは、食べることと、眠ることと、排泄することである。文部省も余裕教室の防災施設への転用手続きの簡素化を決めた。区としても、学校の空き教室を災害用緊急物資の備蓄倉庫として早急に活用し、当面必要な飲

料水、食糧、生活物資、医薬品などを全校に配備すべきと思うがどうか。

【答】今回の阪神・淡路大震災を教訓に、当区に於いても、学校の防災体制の整備に積極的に取り組んでいる。その一環として、余裕教室を活用し、食糧・飲料水・毛布等備蓄物品の搬入を行っており、本年度も6校予定している。平成11年度までには全小・中学校に配置する予定である。

円高・不況対策について問う

【問】長引く不況と円高で、中小業者の暮らしと営業は深刻さを増し、区内の倒産件数も増加している。中小業者の要求は、融資の充実と仕事の確保である。そこで、無担保・無保証人・無利子を含む年利1%以下で、5年据え置き、15年返済の「円高・不況対策特別緊急融資」を至急実施すべきである。

【答】「円高・不況対策特別緊急融資」については、現在、円高の影響に係わるアンケート及び訪問調査を行っており、その結果を踏まえて、総合的な検討の中で、実施の是非について考えていく。

学校修繕費の大幅増額について問う

【問】区が、来年度以降に繰り延べを決めた事業のなかに、校舎の内外装、教室の床・廊下・照明設備の改修など大規模改修が入っている。そのうえ通常の修繕費も10%削減されたのでは必要な修繕ができない。子どもたちの安全な教育環境を守るためにも、修繕費を大幅に増やす考えはないか。

【答】大規模改修が繰り延べされている中で、施設の維持補修について緊急性の高いものからきめ細かい対応を行なっている。今まで以上に学校現場との連携を強化し、学校配付予算による迅速な措置と、営繕部門との協議によりすみやかな補修を実施している。今後も緊急対応に支障のないよう、必要な予算の確保に努めていく。

いじめ対策について問う

【問】子どものシグナルを見逃さないために、いじめられる子が、いつでも安心して相談できる窓口を設置したり、多くの子供供の人間関係をつくる意味でも体罰は絶対にあってはならないと考えるがどうか。

【答】指導室と教育研究所に、いじめの相談窓口を開設している。各学校では、担任や教育相談担当者が連携をとりながら進めている。保健室の拡充は、今後の課題であると考えている。養護教諭の複数配置については、都の動向等を見ながら対処していく。体罰については、禁じられており、今後とも厳しく指導して行く。

平和行政について問う

【問】区が行なう戦後五十周年記念事業は、区長が侵略戦争と認識し、その反省のうえにたつて、平和の尊さ、戦争の悲惨さを区民に認識してもらおうことが大切と考えるがどうか。また、単発事業に終わらせず、毎年継続して平和事業を行なうべきと考えるがどうか。

【答】戦後五十年記念事業は、加害者とか被害者の立場ではなく、平和の意義を確認し、平和意識の高揚を図るために実施するものと考えている。また、戦後の行政は、日本国憲法の理念に基づいて続けられており、今後も続けられるものと考えている。この意味で改めて平和事業を行うことは考えていない。



佐藤 純子 議員

「子育て支援のための総合計画」について問う

【問】政府が打ち出した「子育て支援のための総合計画」では、これまで国が負ってきた経費や責任を自治体に転換するねらいが大きい。区長はこの計画で十分な保育行政ができると思っている。また、保育運営の根幹をなす措置制度を守り、発展させることこそ必要と考えるがどうか。



【答】この総合計画は、家庭における子育てを基本にし、国、地方、企業、地域が協力しあう「子育て支援社会」を呼びかけている。現在の少子化現象と子育ての状況は、このような社会の総合的な支援体制を必要としていると認識している。従って、この総合計画を積極的に受けと

め、保育計画の推進を図っていきたくと考えている。また、措置制度については現状どおり維持されるべきものと考えている。

無認可保育所について問う

【問】子どもたちの健やかな発達を願う無認可保育所は保母の献身的な努力と、父母の大きな負担のうえになりたつてきた。無認可保育所の果たしている役割からいっても、助成金を大幅に増やすべきと考えるがどうか。

【答】区としては、都が助成している無認可の施設に対して、認可保育園等が充実するまでの間、運営経費等の一部を助成してきた経過がある。今後は、無認可保育所への指導監督を適正に果たすとともに、助成基準、役割等の見直しを検討していくが、助成金の大幅な増額については、現状では考えていない。

心身障害学級の整備について問う

【問】小・中学校心身障害学級は、空き教室を利用した施設がほとんどであり、施設・設備が不十分なため、日々の教育に支障をきたしている。現場の教職員から多くの改善の要望が出されている。子どもの成長は待たないでほしい。早急に改善すべきと考えるがどうか。

【答】全小・中学校を対象に毎年、定期的な施設点検を実施している。心身障害学級についても現場の意向を把握しながら計画的な改善に取り組んでいるところである。今後とも、できる限り施設設備の改善に努めていきたい。

足立区議会新現連・わかがけ・ネット



秋山 秀俊 議員

世界都市博覧会の中止に伴う善後策について問う

【問】世界都市博覧会の中止については、都知事のつた大きな決断であると冷静に受け止めている。しかし、数多くの影響が予想され、特に準備を進めてきた中小企業への対応は配慮しなければならぬ。

【答】青島都知事は、中止決定に当たって、これに伴い直接影響を受ける中小零細企業の方々に対しては、細心の配慮を行っていくとの発言をしている。直接的には、東京フロンティア協会との契約に関わることであり、今後の都の対応を注視していく。



防災計画の見直しについて問う

【問】本区は、「阪神・淡路大震災」で最大の被害が出た、長田区と同様の地区を多く抱えている。都はこの一年以内に防災計画の見直しを完了させるとのこ

とだが、区はこの見直しを待つのではなく、早急に関係機関との調整を行い、区内、庁内で見直し調整できる事項は積極的に進めるべきである。防災計画見直しの進捗状況を伺う。

【答】区内防災機関との協議は、防災会議の専門委員による防災計画検討委員会で行うこととしており、すでに準備会を開催し、その調整にあたっている。現在、各機関の内部調整が進んでいる。区としては、見直しの骨子を提案しており、平成8年3月までは、新防災計画を発表したいと考えている。

戦後50年記念事業は今後も継続すべきと考えるがどうか

【問】本年は敗戦50周年の年である。本区としても、区・区議会共催で8月15日に式典を行い、前後して各部、公社等でも関連した事業が計画されている。この種の事業は単に周年事業として終らせるべきではなく、過去の歴史を反省し、学び、憲法の掲げる恒久平和の理念の下に今後の足立区平和行政の新しいスタートとして、多少の規模縮小はあっても、区民が一体となつて平和を考え、行動する日とし、事業を継続すべきである。

【答】来年度以降の事業の継続についてはあるが、行政は、平和と公共の福祉を基本とした日本国憲法の理念に基づいて運営されており、今後そのようなように続けられていくものと考えており、改めて、平和事業という事での特別のことは考えていない。

可決した主な議案

▼予算

平成7年度足立区一般会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ3億5千921万5千円を追加し、予算総額を2千108億5千921万5千円とするもの。

〔主な内容〕▼災害備蓄物品等の整備(全小・中学校へ簡易トイレを設置)▼防炎行動マニュアル(改訂版)作成▼消火ポンプの整備▼救出資機材及び格納庫等の購入▼防災計画検討委員会経費

▼条例の制定・改正

足立区行政手続条例

区の行政運営に於ける公正の確保と透明性の向上を図るため、行政手続の基本的事項を定めるもの。

足立区理学療法士等修学資金貸付条例
修学資金を貸付けることにより、区内の福祉施設等に於ける理学療法士等の養成及び確保を図るもの。

足立区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員等共済組合法の一部改正に伴い、規定を整備するもの。

足立区特別区税条例の一部を改正する条例
地方税法の一部改正に伴い、規定を整備するとともに、行政手続条例の適用除外について定めるもの。

足立区立公園条例の一部を改正する条例
区民無料公開の日を定めるとともに、公園施設の改修に伴い規定を整備するもの。
大島芳江議員(共産党)より本会議に於いて反対の立場から討論あり。
足立区立児童遊園条例の一部を改正する条例
告示により児童遊園の設置及び廃止等を行うもの。
足立区立公衆便所条例の一部を改正する条例
告示により公衆便所の設置及び廃止等を行うもの。
足立区子ども科学館条例の一部を改正する条例
施設の無料公開の対象を広げるもの。
足立区温水プール条例の一部を改正する条例
区民無料公開の日を定めるもの。
足立区立千寿本町小学校温水プール条例の一部を改正する条例
区民無料公開の日を定めるもの。
足立区東綾瀬公園プール・アイススケート場条例の一部を改正する条例
区民無料公開の日を定めるもの。

足立区立郷土博物館条例の一部を改正する条例
区民無料公開の日を定めるもの。

▼請負契約

- ①金額②相手方③方法
保木間堀親水整備工事その三
④4億6千300万円⑤内田建設㈱
③指名競走入札

▼契約の変更

現在施工中の請負契約に設計変更が生じたため、契約金額を変更するもの。
都市農業公園電気設備改良工事
1億7千819万円→1億9千930万5千円
都市農業公園機械設備改良工事
1億6千233万4千円→2億383万7千円

▼購入契約

地下埋設式トイレ買入れ
契約金額 1億5千45万2千800円
契約の相手方 日昌機材㈱
契約の方法 随意契約

▼諮問

児童保育室の入室に関する異議申立てについて
児童保育室の入室不承認に伴う異議申立てについて、諮問審査の結果、これを棄却すべきものと答申しました。
人権擁護委員候補者の推薦
人権擁護委員、荒井智恵子氏、油井久仁子氏の任期満了に伴う再任と、新たに篠田昭氏を人権擁護委員として推薦するため区長から議会の意見を求められました。議会はこれに対し、異議

▼その他の議案

赤山街道の自治体管路設置工事の施行に関する協定
工事箇所 西竹の塚一丁目から伊興町前沼まで(赤山街道)
協定金額 1億9千818万8千480円
協定の相手方 東京電力㈱東京支店足立支社長

道路に軌道を敷設(扇一丁目)することに關する意見
区長から軌道法施行令第二条第二項の規定により区議会の意見を求められました。議会はこれに対し、異議ないものと答申しました。

専決処分の報告等

損害賠償の額の決定
交通事故により、相手方車両に損害を与えたことに伴う賠償の額(13万6千362円)の決定

■特別区道路線の認定

| 所在地 | 延長(m) | 幅員(m) |
|-----------|--------|-----------|
| 扇一丁目地内 | 125.75 | 5.97~8.54 |
| 扇一丁目地内 | 76.79 | 4.00~4.81 |
| 扇一丁目地内 | 87.03 | 4.00~6.49 |
| 平野三丁目地内 | 21.40 | 4.00~4.92 |
| 中央本町四丁目地内 | 97.70 | 7.35~7.54 |
| 舎人四丁目地内 | 43.84 | 4.00 |

■特別区道路線の廃止

| 所在地 | 延長(m) | 幅員(m) |
|---------|-------|-----------|
| 花畑二丁目地内 | 38.54 | 1.81~2.81 |

■区有通路路線の設置

| 所在地 | 延長(m) | 幅員(m) |
|----------|--------|-----------|
| 舎人二丁目地内 | 122.20 | 3.85~4.68 |
| 西新井六丁目地内 | 106.48 | 3.01~4.07 |
| 綾瀬一丁目地内 | 195.06 | 3.72~3.99 |

議決を得た契約の変更
舎人四丁目付近枝線その2工事及び掘削復旧工事ほか計21件平成6年度繰越明許費繰越計算書
地方自治法施行令第146条第二項の規定に基づき、平成6年度繰越明許費に係る歳出予算の繰越について報告するもの(翌年度繰越額10億5千269万3千円)

■意見の分かれた案件

| 件名 | 結果 | 会派名 | | | | |
|-----------------------|-------------|-------|----|-----|--------------|-----|
| | | 自由民主党 | 公明 | 共産党 | 新民連・さきがけ・ネット | 進自由 |
| 足立区立公園条例の一部を改正する条例 | 原案可決 | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 児童保育室の入室に関する異議申立てについて | 棄却すべきものとの答申 | ○ | ○ | × | ○ | ○ |

(注) ○……賛成 ×……反対

不採択にしたもの

○衆議院議員選挙小選挙区の定数不平等配分是正に関する陳情
足立区議会が「公正な代表制

みなさんからの 請願・陳情

度」は、いかにあるべきかを検討され、政府及び衆議院議長に対し、議員定数を「人口比例」により配分し、「一票等価」の原則を貫くよう意見書を提出するよう求めたもの。

継続審査にしたもの

○治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定に関する陳情
○被爆五十年を期して「平和のモニュメント」を建設していた

○朝鮮学校に対する処遇改善のための実効措置を求める陳情
○定住外国人に対する地方選挙への参政権に関する議会決議を求める請願
○在日朝鮮人無年金高齢者、並びに障害者に対する救済を求める陳情
○生活保護の受給者を差別し、医療を受ける権利を侵害する医療券方式を健康保険証のような医療証に改善する意見書の決議に関する陳情

○高齢者が安心してくらするためにシルバーカーの支給をもとめる請願
○学習内容のつめこみを緩和し、学校五日制時代にふさわしい、ゆとりある教育内容にするため、教育課程の基準(学習指導要領)の見直しを、早急に実施することを求める意見書の採択に関する陳情

○老人、障害者の交通利便性の改善についての陳情

新たに提出されたもの

○未就学児までの乳幼児歯科医療費助成に関する陳情
○診療報酬の引き上げ・改善お

よび民間歯科医療機関の経営基盤安定化についての陳情
 ○共同住宅「仮称ダイヤパレス 亀有Ⅲ」建設に関する請願

○ラブホテル建設に関する陳情
 ○公団住宅・西新井団地建替事業に関する、足立区議会の決議を求める陳情

意見書 (要旨)

今定例会で可決した

オウム真理教事件全容の徹底的解明と宗教法人の早期解散を求める意見書

オウム真理教問題は警視庁の捜査による、麻原教祖をはじめとする幹部の逮捕、自供により重大な局面を迎えている。

オウム教団が国民に対し毒ガス・サリンによる無差別テロ、銃器の製造・所持、一連の拉致・監禁、薬物不法投与、献金強要など許すことができない反社会的犯罪行為を組織的に重ねてきた事実は明らかであり、反社会的集団としてのオウム真理

教の実態も明白になった。また、去る三月二十日に発生した地下鉄サリン事件では当足立区民の中からも多数の被害者を出していることは区民に大きな衝撃となっている。

そこで、かかる実態を踏まえ、オウム教団による被害者や同教団関連施設周辺住民の要求にこたえて、オウム真理教の解散をただちに行うことが必要である。よって、足立区議会は、政府ならびに東京都が国民の不安を解消するため、万全の対策を講ずることを強く要望する。
 (内閣総理大臣、文部大臣、国家公安委員長、東京都知事あて)

「山中湖林間学園」増改築終わる

―7月開設―

「山中湖林間学園」は、平成5年度から増改築工事を実施してきましたが、本年6月に竣工し、7月から開設しました。

改築の内容は、旧宿泊棟(C棟)を取りこわし、新たに延べ一千78㎡、12.5畳が9室、10畳が一室の宿泊棟(C棟)を建設しました。また、浴室棟の面積も増加し、施設の充実が図られています。この他、レクリエーションホール棟(体育館)が新設され、利用者には一段と使いや

すくなりました。今月の7日から9月の4日からは、中学校の一年生を対象に「自然教室」(本年度36校参加)が実施され、夏休み中は小学校5年生を対象とした「夏季林間学園」(本年度37校参加)が開校されています。この宿泊棟(C棟)の完成に伴い、限られた期間(8月23日～31日、10月21日～11月6日の間)ですが、区民のみならず、ご利用いただけますので、コミュニティ文化・スポーツ公社の各施設で空き状況等を確認のうえお申込みください。

新装なった山中湖山林学園(宿泊棟)



待望の臨海施設

「鋸南自然の家」竣工

きよなん



光るドームを持つ宇宙船を模したデザインの「鋸南自然の家」の全景

足立区の校外施設はこれまで林間施設だけでしたが、この度海と山に囲まれた温暖な房総の地に校外臨海施設「区立鋸南自然の家」が竣工しました。

然の家」(千葉県安房郡鋸南町大帷子字天王川478番地)が完成し、7月5日に竣工記念式典が開催されました。当日は、北千住駅から式典参加者のための直通専用列車「足立区号」が運行され、常磐線、武蔵野線、京葉線を経由後、内房線に入り保田駅に到着しました。この夏休みには、電車を希望する学校のために、北千住―保田駅間に直通専用列車が三回運行され、四十一校から三千人余りの子どもたちが利用する予定となっています。

記念式典には、区議会から正副議長ほか36名の議員が出席し、足立区長挨拶後、来賓を代表し、この施設は、敷地面積9万7千㎡余、鉄筋コンクリート造り地上四階、地下一階建て(延べ面積7千804㎡)で、ドーム状の屋根が印象的な宇宙船を模した造りとなっています。施設内には、多目的に使える広々としたロビーや15畳の児童室(宿泊室)が30室、108人収容の研修室、40人収容の会議室、大浴室、450人が収容できる食堂があります。その他バスケット・バレー・バドミントンができるレクリエーションホール等が設置されています。また、野外設備としては、キャンプファイヤが可能な野外ステージやテニスコート、多目的グラウンド、野外学習棟等があります。これまでの岩井海岸の民宿を借り上げて実施していた小学校5年生の「夏季臨海学園」をこの施設で今年21日から8月12日まで実施します。また、9月からは全小学校の4年生を対象とした「自然教室」が行われます。学校が利用しない時は、区民の皆さんに開放されますので、ぜひご利用ください。受付はコ



竣工記念式典

環七高速鉄道(メトロセブン)促進協議会開催

東京都東部地域(足立区、葛飾区、江戸川区)の環状方向交通網の早期実現に向けて設立された環七高速鉄道(メトロセブン)環状7号線沿いに足立区鹿浜から江戸川区葛西臨海公園間を結ぶ新交通―促進協議会が6月2日、江戸川区のグリーンパレスに於いて開催されました。足立区議会からは正・副議長及び交通機関誘致対策特別委員会の正・副委員長並びに各委員が、行政側は本協議会副会長の区長と担当助役等が出席しました。

当日は、平成7年度総会と講演会が開かれました。総会では、同協議会会長(江戸川区長)の挨拶後、役員紹介が行われ、引続き平成6年度事業報告がありました。平成6年11月2日の設立総会後の活動としては、同11月11日に第1回幹事会を開催し、東京都から「区部周辺部・多摩東部地域交通システム等基礎調査報告」について説明を受け、平成7年1月20日には、「エイトライナー(環状8号線沿いに羽田空港からJR北赤羽駅間を結ぶ新交通)促進協議会」のメンバーと意見交換を行った旨の報告がありました。その後、平成6年度の決算報告と会計監査報告がありました。次に、環七高速鉄道導入に関する調査(導入ルート、事業手法等の検討、環七沿線開発計画の動向把握、需要喚起策の検討等)の実施②東京都等への要請



環七高速鉄道(メトロセブン)促進協議会の平成7年度総会

活動③講演会の開催④PR活動の強化等を盛り込んだ平成7年度事業計画(案)とこれを裏付ける7年度予算(案)について説明がありました。以上の各議案とも全会一致で承認、決定されました。第二部では、黒川洗東京工業大学教授(筑波大学社会学系教授併任)による、「鉄道導入への取組について」の講演会が開かれました。

コミュニティ文化・スポーツ公社の各施設で行いますので空き状況等を確認のうえお申込みください。

区議会のしくみと仕事

区議会のしくみ

区議会議員

区議会議員は区議会を構成し、区民に代わって予算や条例など区の重要な事項を決定します。

足立区議会は、区民の直接選挙で選ばれた56人の議員で構成されています。議員定数は人口に応じて決められており、任期は4年です。

議長と副議長

議長と副議長は、議員の中から選挙によって選ばれます。

議長は、議場の秩序を保ち、会議を円滑に進め、議会に関する事務処理を行います。また、区議会の代表として、いろいろ

な会議に出席したり、他の機関と協議したりします。

副議長は、議長が欠けたとき、病気や出張などで不在の場合に議長の代わりを務めます。

党派

区議会の意思は、多数決によって決められます。そこで、同じような考えをもつ議員が集まってグループをつくって活動すれば、自分たちの考えをより効果的に反映させることができるといえます。また、この党派間の一般的な連絡調整機関として、足立区議会では各派幹事長会が設置されています。

定例会と臨時会

区議会の会議には、定例会と臨時会があります。定例会は毎年3月、6月、9月、12月に開かれています。そのほか、必要に応じて臨時会が開かれます。

本会議

全議員で構成する区議会の会議を、本会議といいます。区の重要な事項は、すべてこの本会議で決定します。

委員会

区議会を取り扱う問題は多岐にわたるため、複雑化してきています。そこで議員全員による審議は困難な状態なので、これらはいくつかの部門に分けて、専門的・能率的に審査するため、委員会を設けています。

て設置される特別委員会、それに主として議会の運営に関する仕事を審査する議会運営委員会があります。

☆常任委員会

足立区議会には、6つの常任委員会があり、議員は必ず一つの常任委員会に所属します。常任委員の任期は1年で、委員の名、定数、所管事項は次のとおりです。

総務委員会(定数11名)

○企画部、総務部、管財部、収入役室、選挙管理委員会及び監査委員に関する事項

○他の常任委員会の所管に属しない事項

区民委員会(定数9名)

○区民部及び地域振興部に関する事項

○農業委員会に関する事項

厚生委員会(定数9名)

○福祉部及び衛生部に関する事項

建設委員会(定数9名)

○土木部及び建築部に関する事項

都市環境委員会(定数9名)

○都市環境部に関する事項

文教委員会(定数9名)

○教育委員会に関する事項

☆議会運営委員会(定数14名)

委員は各党派から選出され、任期は常任委員と同じです。

○議会の運営に関する事項

○議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項

☆特別委員会

特別な事項について、議会が特に必要と認めるときは、特別

委員会を設けて、審査・調査することができず。

足立区議会では、予算審査のときに予算特別委員会を、決算審査のときは決算特別委員会を設けているほか、現在3つの特別委員会があります。

交通機関誘致対策特別委員会(定数14名)

○交通機関の誘致及び整備に関する調査研究について

本庁舎跡利用建設計画調査特別委員会(定数14名)

○本庁舎跡利用の施設の建設計画並びにその合理的な運営等に関する調査研究について

行財政改善調査特別委員会(定数14名)

○行財政の改善等に関する調査研究について

区議会の仕事

議決

区長や議員から提出された議案を審議して、その可否を決めることを議決といいます。

議決する主なものは、条例の制定・改廃、予算の決定、決算の認定、区が結ぶ重要な契約、財産の取得・処分、意見書・決議などです。

選挙・選任・同意

区議会は、議長、副議長や選挙管理委員会の委員などを選挙し、常任・特別委員会や議会運営委員会の委員を選任します。

また、区長から提出される助役、収入役、教育委員、監査委員などの人事案件について、同

意見書・要望書の提出と決議

区民のみなさんの生活環境の改善や、福祉の充実を図るためには、区の方だけでは解決できない諸問題があります。

このような場合には、区議会の意思を意見書や要望書にして、関係機関に提出し、積極的な解決を求めていきます。

請願・陳情の審査

区議会では、区政に対するみなさんの意見や要望を請願や陳情のかたちで受けています。

編集後記

5月26日の臨時会では、正・副議長の改選をはじめ、各委員会委員等の議会構成が変わりました。また、各党派の役員にも変更があり、これに伴って、区議会だより編集委員会も新たな構成となりました。

これまでお寄せいただいたご支援に感謝申し上げます。今後も、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

前編集委員

- (議長) 長 卷田 清治
- (副議長) 長 山本 明儀
- (議運委員長) 藤木 二幸
- 川下 政信 忍足 和雄
- 鹿浜 清 渡辺 修次
- 藤沼 壮次 野中 栄治
- 飯田 豊彦
- 新編集委員
- (議長) 長 河合 平内
- (副議長) 長 芦川 武雄
- (議運委員長) 鹿浜 清
- 平沢 太郎 大島 芳江
- 浜崎 健一 針谷 幹夫
- 中島 勇 秋山 秀俊
- 友利 春久 卷田 清治
- 忍足 和雄

足立区議会・本会議の会議風景

